

2023年度 第1回 治験審査委員会  
会議の記録の概要

1. 日 時 令和5年4月13日（木）午後4時30分～午後4時50分
2. 場 所 西館11階 第一会議室
3. 出席者 前田賢人、望月英明、大隅進、深澤誠司、五十嵐健康、土田裕美、鈴木崇浩、吉田多加貢、大倉瑞穂、山田浩、坂井美文

4. GCP審議事項

(1) 治験の継続審議

①日本人の中等症又は重症の活動性潰瘍性大腸炎患者を対象としてOZANIMODを経口投与したときの有効性及び長期安全性を評価する第2/3相多施設共同ランダム化二重盲検プラセボ対照試験  
依頼者から報告された安全性情報について治験を継続実施することの妥当性について審議した。  
審議結果：承認

②ACS患者を対象としたCSL112の二重盲検第3相臨床試験  
依頼者から報告された安全性情報について治験を継続実施することの妥当性について審議した。  
審議結果：承認

③ノーベルファーマ株式会社の依頼による急性期帯状疱疹患者を対象としたNPC-06の第Ⅲ相試験  
依頼者、治験責任医師から提出された治験に関する変更申請書について、添付資料に基づき治験を継続実施することの妥当性について審議した。  
審議結果：承認

④増悪歴を有する症候性の慢性閉塞性肺疾患患者を対象としたTozorakimabの有効性及び安全性試験  
ア) 依頼者から報告された安全性情報について治験を継続実施することの妥当性について審議した。  
イ) 依頼者、治験責任医師から提出された治験に関する変更申請書について、添付資料に基づき治験を継続実施することの妥当性について審議した。  
審議結果：承認

⑤日本新薬株式会社の依頼によるNS-304の後期第Ⅱ相試験  
依頼者から報告された安全性情報について治験を継続実施することの妥当性について審議した。  
審議結果：承認

⑥脳卒中リスクのある 18 歳以上の心房細動の患者を対象に、脳卒中又は全身性塞栓症の発症抑制に関する、経口FXIa阻害薬asundexian (BAY2433334) の有効性及び安全性をアピキサバンと比較する多施設共同、無作為化、実薬対照、二重盲検、ダブルダミー、二群間並行群間比較、第Ⅲ相国際共同試験  
依頼者から報告された安全性情報について治験を継続実施することの妥当性について審議した。  
審議結果：承認

⑦急性非心原塞栓性虚血性脳卒中又は高リスク TIA 発症後の患者を対象に経口FXIa阻害薬asundexian (BAY 2433334) の有効性及び安全性を検討する第Ⅲ相試験  
ア) 依頼者から報告された安全性情報について治験を継続実施することの妥当性について審議した。  
イ) 依頼者、治験責任医師から提出された治験に関する変更申請書について、添付資料に基づき治験を継続実施することの妥当性について審議した。  
審議結果：承認

5. 報告事項

(1) 実施体制の変更 5試験、7件について報告された。